

【中部地区】

(1)実施日	平成28年10月29日(土)
(2)実施場所	藤前干潟(藤前活動センター:名古屋市港区藤前2丁目202番地)
(3)参加者	24名(JATA会員会社21名+事務局3名) (活動全体の参加総数:1,969名)
(4)協力	NPO法人 藤前干潟を守る会/ 環境省 名古屋自然保護官事務所
(5)活動内容	オリエンテーション・作業説明の後、「藤前干潟」藤前地区堤防下の清掃活動を実施。⇒(全体)収集したゴミの量は <b>45Q</b> のゴミ袋で2,081袋
収集塵	ガラスビン、缶、ペットボトル、使い捨てライター、釣針・釣糸、注射器等
(6)スケジュール	08:30 名古屋駅前から貸切りバスで出発 09:15 ラムサール条約湿地藤前干潟 藤前活動センター到着 バスは名古屋市ゴミ焼却施設「南陽工場」駐車場に駐車 09:30 「藤前干潟クリーン大作戦」受付 ゴミ袋と人数分の手袋を受け取る 09:55 オリエンテーション・清掃区域、ゴミ分別についての全体説明 10:00 藤前地区堤防下の清掃活動開始 10:50 清掃活動終了、塵分別・収集 11:00 藤前活動センターの見学 11:20 ナガシマスパーランドに向け、バス出発 11:45 ナガシマスパーランド「湯あみの島」到着 13:00～ 昼食 14:30 ナガシマスパーランド出発 15:30 名古屋駅前到着、解散
(7)参加の感想	①前日の雨で実施が危ぶまれたが、当日は秋の真っ青な晴天、絶好の清掃日和で、日中は25℃に達する汗ばむ陽気ではあったが、水分摂取に気を付け、無理なく清掃活動をすることができた。 ②この活動も回を重ね、複数回連続参加の会員が何人かいた。様々な企業・団体が数多く参加しているので、自然環境保全活動への参加意識が高まり、今年初めての参加者から次回も参加したいとの声が上がった。 ③今年は天候が不順であったにも拘わらず、ゴミの量は例年に比べ少ない印象であったが、相変わらずペットボトルなどのプラスチック製品が目立った。 ④清掃後の「湯あみの島」での昼食とお風呂は、会員相互の親交を深めるとともに、日頃の煩わしさを癒し仕事の疲れを流してくれました。 ⑤社会貢献活動に参加する事は、旅行業界同業者の人的交流のみならず、親子の触れ合いの場、異業種間交流の場としても有意義な機会だと感じた。
(8)その他情報	藤前活動センターでは、干潟の多くの野鳥や生き物を見る事が出来たが、ペットのミドリガメの展示もあり、育ったものが干潟に生息するなど、外来種が在来種に影響を及ぼさないよう、自然環境を保全していく活動は、幅広いそして継続した取り組みが重要であると感じた。

